

「交通安全週間」によせて

五十嵐佐代子

「交通安全ルールを守りましよう」と、普段何気なく耳にしていますが、自分の身に振りかかって来ないと、なかなか実感がないと思いませんか。私は、実際に事故を体験して、つくづく痛感します。

おと年の三月下旬、会社から帰り、夜、友達の家へ自動車に向かう途中、右折時二人乗りのバイクと接触し、苦い思いをしました。私が、バイクのスピード感を見誤った為、まさかとは思いましたが、音がして初めて「あっ」と思い、もうそれからは自分が自分になくなってしまった程、動揺しました。相手はまだ若い青年で、二人のうち一人が、目の上を切って、針で縫うけがをし、バイクも車も、ひどい破損でしたが、相手はノーヘルで、スピードも出ていたの

で、示談済みでしたが、一時はどうなる事かと思いましたが、もし、相手が失明していたら……と、今でも思い出すと、背筋がゾッとします。事故を起こした本人だけの問題でなくなってしまうから怖いのです。

新聞や、テレビのニュースで交通事故の話を見ると、家族の方に同情します。私は、自動車の免許をとって早や五年たちますが、考え事をしていたりすると、注意力が薄くなる事が、多々あります。若い頃は自分の運転を過信してしまいがちですが、こちらが安全運転をしていても、いつ、どうなるかわかりません。

シートベルトの着用義務付けは、正解だと思います。始めはめんどうくさいなあと思っていました。今では必ず「シートベルトは？」と、となりの人にも言います。自分の身を守る事は、強い事は、みんなの幸せに通じる事だと思えます。歩行者も、運転者も、もちろん私自身も常に相手の立場に立って行動し、少しでも、交通事故をなくしたいと思えます。

死亡事故ゼロ二千日

月潟中学校三年 近藤八枝子

「死亡事故0二千日」この言葉をきいて大都市の人は、どう思うだろうか。きっととても驚くことだろう。大きな街では、十分おきぐらいに事故が起り、大勢の人が亡くなっているという。そんな暮らしの中では、考えられないことだろう。

私は、自分の生まれた所ではあるのに、この村をよく思っていない。面積は小さい、人口も少ない、デパートもない、学校も一つ、信号も二つしかないなど不満はいっぱいだ。今、この考えを改めなくてはいけない。それは、この村には、事故のない明るい家庭があるということだ。

毎日毎日、平凡に暮らしていくことができるのも、みんなのおかげだと思う。事故がないということほど、素晴らしい、うれしいことはないと思う。

この死亡事故0二千日という記録を支えてきたのは、一

つは、村中の人たちである。ドライバーも歩行者も、みんな協力して達成できた「記録」である。ギネスブックには、まだまだ載ることはできないが、こういう記録こそ、載せてほしいものである。

もう一つ、この記録を達成させたものがある。それはこの自然の豊かさであると思う。見渡す限りの田んぼや畑。これが工場、デパートなどがたち並んでいたらどうだったろう。人々は、激しく行きかい、車は飛ぶように走っていると思う。この田んぼや畑こそがドライバーや歩行者の気持ちのどかかにさせて事故がおこらなかったのではないだろうか。だからこの村の緑をずっと残したいと思う。自然をこわすことは、やさしい。しかし、元にもどすことは難しい。そのこと以上に、死亡事故0を支えてくれた自然は、絶対にこわされたくない。それは、死亡事故0を支え続けた自然だから。

死亡事故

今月号をもちまして、ゼロ二千日記念作文を終了させていただきます。長い間、本当にありがとうございました。

皆さんも、これらの作文を読み、死亡事故の恐怖、こんなに身近な所でも事故が起きていることなどと、各人でいろいろ考えさせられたものだと思います。私でさえ交通事故にあってしまったという経験があります。小さい頃の話で、その時の状況はよく覚えていません。しかし、事故の重大さはよく知っているつもりです。

十分に日頃から注意して、平和な家庭にしていってほしいものです。皆さんの安全を願っています。

準要保護児童生徒援助制度

をご存知ですか

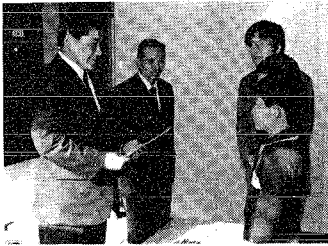
(認定を希望される方は早めに手続きを)

義務教育学校の児童・生徒のうち、経済的理由により就学困難な児童及び生徒に対し国と市町村で予算の範囲内で就学援助を行うものです。この就学援助の内容は次のとおりです。

- ①学用品費等
- ②学校給食費
- ③医療費

認定基準は次のとおりです。前年度又は該当年度において、次のいずれかの措置を受けた者

- a 生活保護法に基づく保護の停止又は廃止
- b 児童扶養手当法に基づく児童扶養手当の支給
- c その他経済的理由による者



▲小学生から村長さんへ

赤い羽根共同募金

中間報告

目標額達成(報告)

十月一日より始まりました昭和六十二年度赤い羽根共同募金も皆様方の暖い御理解を戴き今年も目標額を越える事ができました。報告方々厚く御礼申し上げます。また、募金活動に御協力戴きました、部落総代、各役員、学校の関係者の方々には、お手をわずらわせました。厚くお礼申し上げます。

目標額	五四四、七〇〇円
募金額	六一九、三六八円
大別当	六五、〇〇〇円
月 潟	二二六、八五〇円
西萱場	五〇、七〇〇円
曲 通	九一、〇〇〇円
東長島	二七、三〇〇円
木 滑	四八、一〇〇円
釣 寄	二六、〇〇〇円
釣 寄新	九、七五〇円
中学校	二八、六三三円
小学校	二五、九一〇円
その他	二〇、一二五円

(十二月一日現在)

尚、募金は年末まで受付ておりますので、引き続きよろしくお願ひします。

歳末慰問を

実施しました

去る十二月二日(火)、社会福祉施設に入所されている方や六カ月以上入院されている方等に村長、助役、民生委員、担当課長、係で歳末慰問を実施しました。慰問は、四班編成で午前中は施設等を午後からは村内を回り、何れもお元氣なお顔を拝見して参りました。

- ◎老人世帯(六十五才以上の方のみで構成される世帯) 単身 十二世帯 二人以上 十四世帯
- ◎在宅重度療養者 二十一世帯
- ◎長期入院(六カ月以上) 二十二世帯
- ◎社会福祉施設入所者 八人
- ◎老人関係 八人
- ◎その他 八人

ゆく年くる年ルールを守って安全運転

年末年始の交通事故防止運動

この運動は、広く県民に交通安全知識を普及啓発し、その交通安全思想の高揚を図り、正しい交通ルールとマナーを習慣づけることにより、年末年始に多発する交通事故の防止を目的とする。

ドライバーも歩行者も、一層気をひきしめて、安全運転安全歩行の習慣をしっかりと身につけ、お互いに相手の立場を尊重する「ゆとり」と思いやりの心をもって、冬の交通事故を防止しましょう。

4大実施事項

- 1 飲酒運転の追放
- 2 歩行者・自転車事故の防止
- 3 スリップ事故の防止
- 4 踏切事故の防止